

「与えられる福祉」から 活力ある「積極的福祉」へ



 有限会社 **C・ネットサービス**

工場長：吉田泰彦

工場建設まで

- **不採算の事業を黒字に**

(社福) コミュニティーネットワークふくいを
12法人に分社した内の1社が当社

- **新工場は、補助金ゼロで全額借金**

まずは自助努力。共助の仕組みで公助を頼らず

工場建設の目的

1. 高効率の経営の追求・原価の低減
2. 障害のある人が主役の職場へ
3. 暮らしの自律訓練にグループホーム

2012年計画・8月着工、2013年1月竣工

生産活動のシフト

- 363日稼働

生産繁忙期 = GW・盆・年末年始

- 休日 = 月6日
- 早朝勤務対策「職住近接」

グループホーム

- 定員12名
- 入居者：家庭の支援が弱く
生活の支援が必要な人
- 通勤のタイムロスと事故の回避
- B C P（事業継続計画）の拠点

バット容器洗淨

- 自動洗淨機に投入⇒洗淨⇒すすぎ⇒乾燥
- 加圧されたクリーンルームへ
- 専用搬送車で客先に納品
- 客先の在庫管理（ネットカメラ活用）

クリーニング①

- 障害者が主役の職場
- SP社員の戦力化
(A型利用者)



Nr	店舗名	リース白	白	白
1	福井駅前	12	3	
2	福井片町	21	5	
3	New秋吉	3	6	
4	種池	7	4	
91	広島袋町	1		

パソコンで納品伝票作成



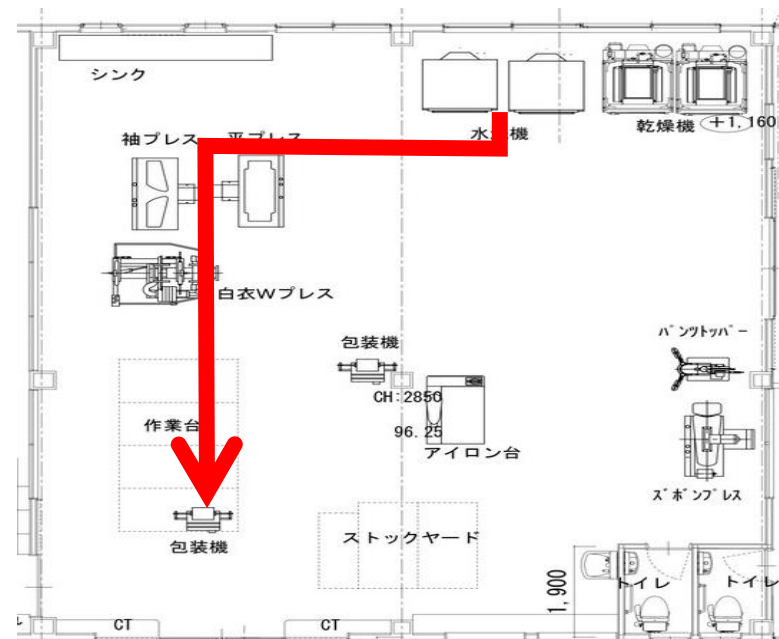
ボタン操作で洗剤投入



クリーニング②

作業改善の一例

1. 設備配置の最適化
2. 脱包装、ラック納品
3. 工程の高速化対応



見える化

1. 機械操作と作業手順
2. フルタイム動画記録
3. モデル職場と評価

CNS		安全作業 手順書		No.	1
作業名	バット洗浄作業	作業内容	バット洗浄乾燥機により、バットを洗浄。キャスターに積み、バット専用運搬車に積み込み出荷できるようにする。		
項目	機械の起動・バット投入	作業	ポイント		
機械の準備		① ボイラー「運転中」の確認	温度 60℃ 上昇まで約 30 分 所要 温度上昇確認後、バルブ操作 左回し⇒開、右回し⇒閉		
		② 温度調整スイッチを「入」にする			
③ 蒸気バルブを 1 回開閉する (オレンジ色のバルブ)					
④ 運転切替スイッチを「自動」にする					
⑤ 「起動」ボタン(緑)を押す					
機械の準備					



労働災害防止活動などを促進する県産業安全衛生大会が二日、福井市下六条町の県生活学習館(ユー・アイふくい)で開かれた。防災防止や職場の安全衛生に取り組んでいる優良事業場や個人の表彰と、優良事例の発表があった。

県労働基準協会などの関係団体で構成する県労働災害防止団体連絡協議会が毎年開催。優良事業場などの表彰の後、受賞事業場の中から C・ネットサービス(福井市)の事業計画推進室主任、大橋嘉夫さんが、社内で取り組みを紹介した。

労災防止を促進 県産業安全衛生大会 優良事業場など表彰



大橋さんは「作業手順や注意事項の「見える化」にやり組んでいる」と強調。作業手順の説明書きに写真を添えたり、注意書きでは特に注意するものを赤字にしたり工夫していることを例に挙げた。作業で床がぬれやすい場所には、近くに清掃用具を置き、ぬれたらすぐに掃除できるようにしていることも説明した。

(笠松俊秀)

県内の優良事業場などが表彰された産業安全衛生大会。福井市の県生活学習館で

3.

2.

S P社員と支援員の人数

バット・クリーニング		2013年	2016年	2019年	$\frac{2019}{2013}$
S P社員	実員	25人	18人	13人	52%
	平均/日	18.3人	13.2人	9.5人	
支援員	実員	10人	4人	4人	40%
	平均/日	7.3人	2.9人	2.9人	
バット 枚数	平均/日	3,709	4,391	4,465	120%
	1人/日	405	665	937	232%
ク リ ー ニ ング枚数	平均/日	648	714	876	135%
	1人/日	71	108	184	260%
支 援 費		31,345千円	27,375千円	25,434千円	▲5,911千円

多能工

- 目標：全ての機械操作ができるように
クリーニング



作業	S P 社員	当初	練習後	職業能力	当社平均
袖プレス	Y M	7 9 秒	→ 7 3 秒	52%	3 8 秒
ボディプレス	Y J	7 5 秒	→ 6 6 秒	61%	4 0 秒
前掛けアイロン	D M	6 0 秒	→ 4 8 秒	54%	2 6 秒
工場白衣プレス	F Y	4 0 秒	→ 3 0 秒	87%	2 6 秒

- 1 日 2 業種

バット洗浄 ↔ クリーニング

能力評価

- 年2回、4月・9月実施

以下抜粋

評価項目	評価基準	評点
速さ	仕事の適応力	1～10
協調性	誰とも協力して働けるか	
身だしなみ	髪・爪・ひげなどが清潔か	
職場に対する影響力	「良く気を配り、良い影響を与えている」から「良くない影響を与えている」まで。	0～10

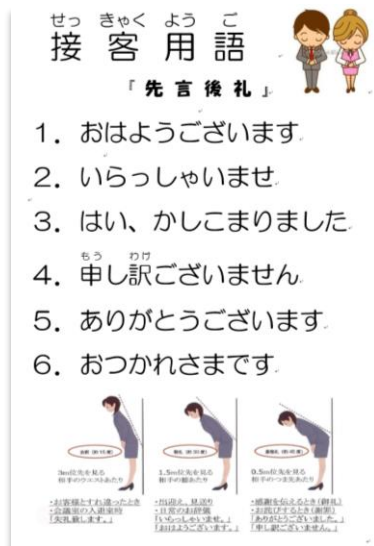
- 本人へ努力目標等コメントを添えて伝える

実習・採用

- 特別支援学校卒業生
2014年～2019年 8名
- 特徴の違う2種類の作業
- あいさつ評価、PCでの日誌作成



バット容器洗浄



あいさつ訓練



クリーニング

まとめ（効率の追求）

1. 省エネ工場建設時、機能向上
2. 作業のムダを極限まで減らす
⇒早く・ムラなく・無理なく・より安く
3. 障害者の多能工化
4. 水光熱費の徹底削減
 - ・ 使用量の公開（見える化）⇒低減意識
 - ・ 太陽光発電（80kW）⇒余剰電力売電 年間100万円

健康経営

真向法



筋力強化



フレイル予防
(真向法・筋力強化)

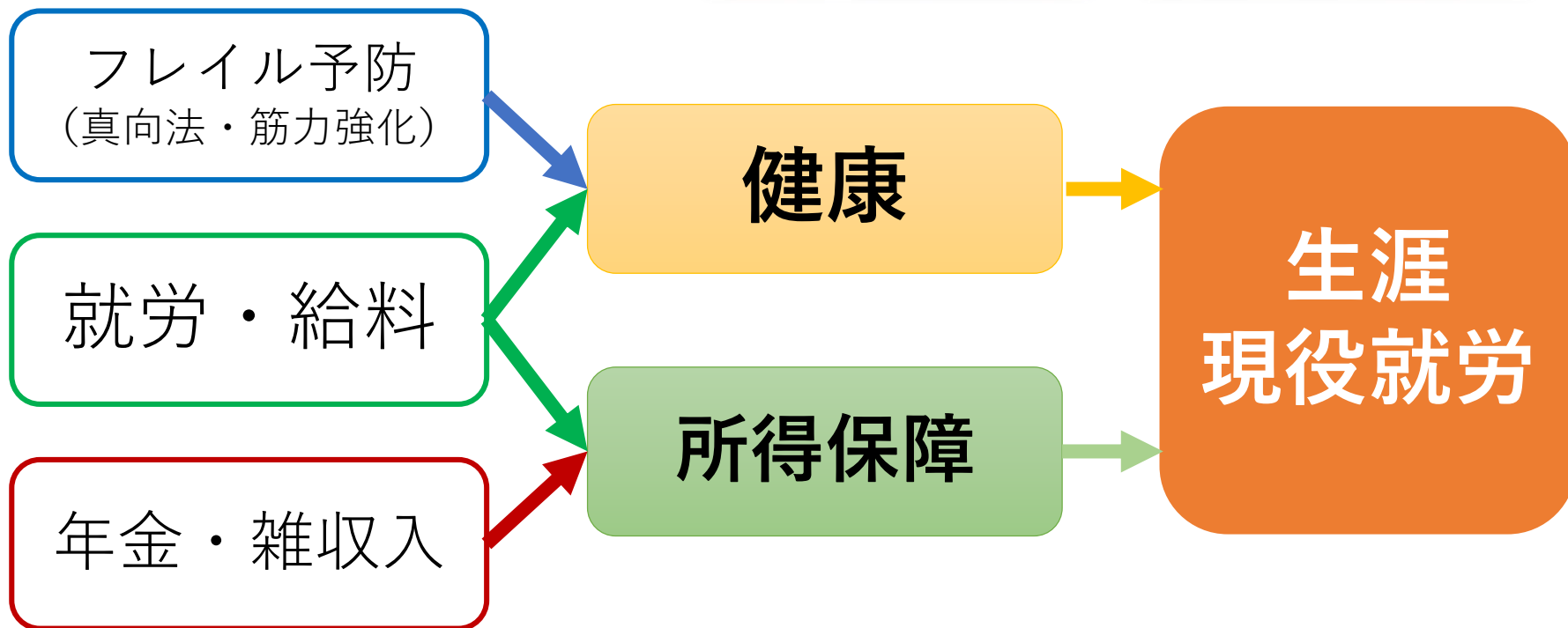
就労・給料

年金・雑収入

健康

所得保障

生涯
現役就労



今後の課題

◎ 「支えられる側」から「支える側」へ

- ・ **2018年度の納税者6人（46%）を全員に**

◎ 「与えられる福祉」から、

自らが生き抜く「活力ある積極的福祉」へ

- ・ **障害者が資本金の全額を取得「使用人からオーナーに」**

◎ 新たな事業展開

- ・ **健康食品「きくらげ」の実証栽培**